

大谷中学校 入試・進路の情報

OTANI JUNIOR HIGH SCHOOL

- INDEX P1 志願者数・合格者数・入学者数、及び合格基準点
 P2 【TOPIC】
 P3 設問ごとの正答率と講評 その1 (A3:国語・算数・社会)
 P4 設問ごとの正答率と講評 その2 (A3:理科・英語／BT:国語・算数・理社)
 P5 谷験テストについて その1
 P6 谷験テストについて その2、内部進学者の高校卒業時の進路状況

生徒・保護者対象説明会の日程 (2025年度入試)

2024		[全体説明会]	[個別相談]	[食堂 コンビニ体験]	
6 / 1	(土) 学校説明会I	○	○	○	授業公開
7 / 6	(土) オープンキャンパスI	○	○	※コンビニ体験のみ	授業体験
8 / 24	(土) オープンキャンパスII	○	○	※コンビニ体験のみ	生徒会企画／クラブ体験・見学
9 / 28	(土) 学校説明会II	○	○	○	授業公開
10 / 26	(土) 学校説明会III(谷験テストI)	○	○	—	谷験(KとT)
11 / 2	(土) 小学5年生以下対象 オープンキャンパス	○	○	○	生徒会企画／校内見学
12 / 7	(土) 入試説明会(谷験テストII)	○	○	○	谷験(K)
2025 3 / 20	(木祝) 小学生対象 オープンキャンパス	○	○	—	国算体験授業

※すべての説明会・オープンキャンパスでWEB申し込みが必要です。

※11/16(土)・12/14(土)にも個別相談会を行います。(予約制。事前に申し込みが必要です。)

※詳細については、随時ホームページなどでお知らせします。

2024.4.8
進路
決定版

1 日程ごとの志願者数と合格者数と入学者数

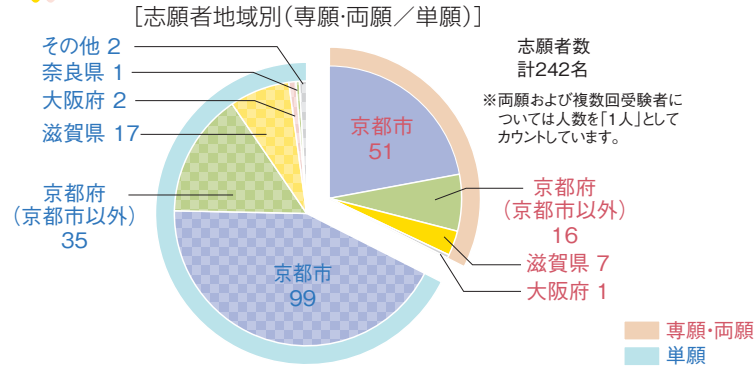
日 程		志 願 者		受 験 者		合 格 者			
						マスター Jr		コア Jr	
		男	計	男	計	男	計	男	計
女	女	女		女					
A 日程 1/14 (土)	AS	11	15	11	15	—	2	11	13
		4		4		2		2	
	A3	49	66	49	66	20	31	22	28
		17		17		11		6	
	A2	72	112	71	111	27	56	31	40
		40		40		29		9	
B 日程 1/15 (日)	B2	80	123	80	123	35	58	33	51
		43		43		23		18	
	BT	7	11	7	10	6	9	1	1
		4		3		3		—	
C 日程 1/18 (水)	C2	51	73	34	47	20	27	11	16
		22		13		7		5	
合 計		270	400	252	372	108	183	109	149
		130		120		75		40	

(志願者、受験者、合格者の数字は、延べ人数です。)

2 試験区分と科目

AS	志望理由書・活動報告書・通知表のコピー(5・6年のもの)・作文・個人面接
A3	国語・算数(各50分/各150点)+選択科目(理科・社会・英語から1～2科目) ※選択科目は各35分/各100点/2科目選択の場合はいずれか高得点を採用【計400点】
A2	国語・算数(各50分/各150点) 【計300点】
B2	国語・算数(各50分/各150点) 【計300点】
BT	国語・算数(適性検査型問題/各50分/各100点) 【計200点】 +自由選択科目 理社(適性検査型問題/50分/100点)+面接(個人)から選択 ※面接(個人)のみの選択は不可 【計300点】
C2	国語・算数(各50分/各150点)【計300点】

3 地域ごとの志願者と入学者数



4 2023年度入試合格基準点

試験区分		A3		A2		B2		BT		C2	
配点合計		400		300		300		100%		300	
両願・複数回	全額給費	320	80%	245	82%	245	82%	65%	252	84%	
	半額給費	309	77%	230	77%	235	78%	60%	237	79%	
	マスター	270	68%	205	68%	205	68%	45%	216	72%	
	コア	190	48%	150	50%	150	50%	40%	156	52%	
単願	全額給費	340	85%	260	87%	255	85%	70%	267	89%	
	半額給費	320	80%	245	82%	245	82%	65%	252	84%	
	マスター	290	73%	220	73%	215	72%	50%	231	77%	
	コア	210	53%	165	55%	165	55%	45%	171	57%	

※ BT は得点率で合格判定をおこなっています。

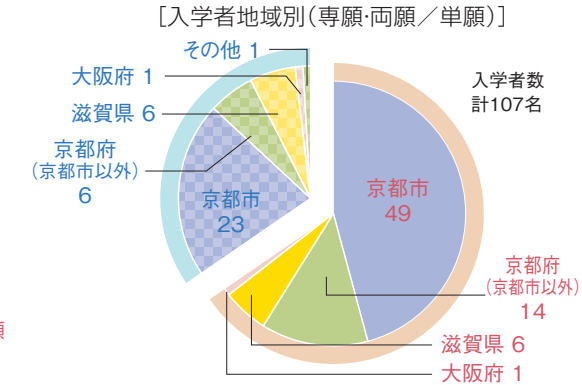
受験型	日程	入学者		クラス別入学者			
		男 女	計	マスター Jr	計	コア Jr	計
専願	AS	1	1	—	—	1	1
		—		—		—	

両願	AS+α	11	15	1	3	10	12
		4		2		2	
	A3+A2 A3+B2	38	54	12	22	26	32
		16		10		6	

単願	複数回	13	18	9	13	4	5
		5		4		1	
	A3	1	1	—	—	1	1
		—		—		—	
	A2	1	4	—	2	1	2
		3		2		1	
	B2	5	7	2	3	3	4
		2		1		1	
	BT	—	—	—	—	—	—
		—		—		—	
	C2	5	7	1	2	4	5
		2		1		1	
単願合計	25	37	12	20	13	17	
	12		8		4		

入学者		クラス別入学者			
		マスター Jr	計	コア Jr	計
男	計	男	計	男	計
女		女		女	
75	107	25	45	50	62
32		20		12	

男女比は7:3



5 受験者平均点

		A3					A2	
配点合計		400					300	
教科	国語	算数	理科	社会	英語		国語	算数
配点	150	150	100	100	100		150	150
平均点	86.3	90.6	59.5	59.6	64.8		101.6	86.6
合計平均点	国算理 241.9/ 国算社 240.7/ 国算英 262.4						188.2	
		B2		BT ※得点率			C2	
配点合計		300		100%			300	
教科	国語	算数	算数	理	社		国語	算数
配点	150	150	100	100	100		150	150
平均点	101.2	77.9	62.4	52.4	45.9		99.4	107.0
合計平均点	179.1		54.0				206.4	

TOPIC

2024年度入試について ※2025年度入試については、夏以降の要項で確認してください。

1 受験型について

(専願・両願・複数回・単願の定義)

受験型	対象となる試験区分	内 容	利 点
専願受験	AS	本校で学ぶことに強い意欲を持ち、合格すれば入学する意志のある方。 ※ASを受験する＝専願 ということです。	・若干優遇
両願受験	AS、A3、A2、B2	AS+A2、AS+B2、A3+A2、A3+B2の4つの受験パターン。	・両方の入試で得点優遇 ・同時出願で受験料は1回分
複数回受験	A2、B2、BT、C2	両願以外で、2回目以降の受験。 ※1回目は単願受験となります	・2回目以降の入試で得点優遇
単願受験	A3、A2、B2、BT、C2	それぞれの受験型で、単独での1回目の受験。	—————

※両願受験の得点優遇は受験をして成立します。
(欠席すれば得点優遇はなくなります)

2 A3入試

- ・国語+算数+選択科目(理科・社会・英語から1科目または2科目選択。2科目受験した場合、いずれか良い方の得点を判定に採用します。)
- ・傾斜配点:国語150点・算数150点・選択科目100点

3 A3・A2・B2・C2の国語・算数の問題傾向と難易度

- ・作問者は、この4つの入試は、傾向を変えずに同じレベルの問題となるように意識して作っています。
- ・合格基準点(得点率)は、A3→A2→B2→C2の順に高く設定しています。ただし、C2を受験すると複数回受験となる受験生については、大谷熱望の受験生とみなして、高くないように合格基準を設定しています。

4 資格による加点

以下の資格に応じて加点をして判定します。受験当日に、必ず認定証のコピーを志願票と一緒に提出してください。

- 3・4科目受験の方 20点加点:英検準2級/漢検3級/数検4級 □ 2科目受験の方 15点加点:英検準2級/漢検3級/数検4級
- 10点加点:英検3級/漢検4級/数検5級
- 8点加点:英検3級/漢検4級/数検5級
- 5点加点:英検4級/漢検5級/数検6級

認定書のコピーは、複数回受験の場合、初回受験時に提出してください。(2回目以降の受験の判定にも有効です。)

※複数提出可。

5 BT入試

適性検査型国語、及び適性検査型算数は必須です。適性検査型理科・社会と面接は希望者対象です。
洛北・西京・南陽・園部高校附属中学の入試問題(適性検査型問題)を意識して作問しており、その入試問題に対する特訓をしている人向けの入試です。出題傾向としては、洛北・西京高校附属中学に近い問題を出題しています。

6 AS入試について

- ・コンセプト:小6までに学習以外にもスポーツや音楽などの取り組みを行っている人や自慢できることのある人向きの入試。大学の自己推薦系の入試に強そうな人を発掘する目的もあります。
- ・+B2入試受験をお薦めています:ASで確実にコアJrの合格をおさえ、B2入試でマスターJrの合格を視野に入れることと、入学後に国算の受験勉強をしていないことがデメリットにならないようにすること等を狙いとしています。また、特待生を目指している人はASではなくA3を受けた方が有利です。(昨年度のAS入試受験者のうち、マスターJr合格は1名でした)
- ・専願受験となります。
- ・自己推薦できるもの:スポーツ・習い事・検定や資格など(賞状や新聞記事のコピー、トロフィーの写真などの添付もOK)
- ・事前審査の手順

- 親子で説明会に参加し、個別相談内に設置された「ASエントリー希望面接」を受ける
- (1)AS入試のコンセプトを理解する (2)エントリー基準をクリアしている ⇒ (3)ASエントリー用紙を受け取る

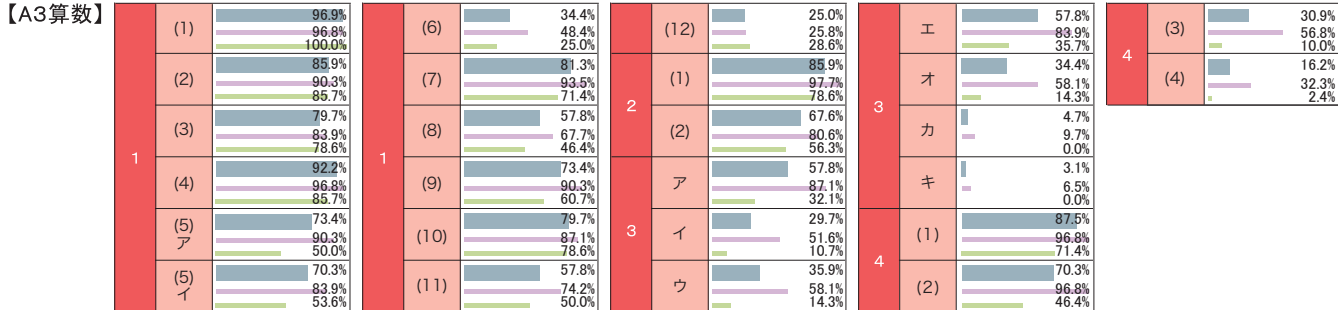
小学5年の年度末と小学6年前期の通知表が、3段階の学校ではオール2以上5段階の学校ではオール3以上(ただし、私立小に通う方は応相談)

- 2 谷験テストを受験する(結果が良かった人はプラス材料に)
 - 3 書類を提出
 - 4 書類審査自己アピール日
 - 5 事前審査判定
- 2回(10月と12月)のうち、いずれか

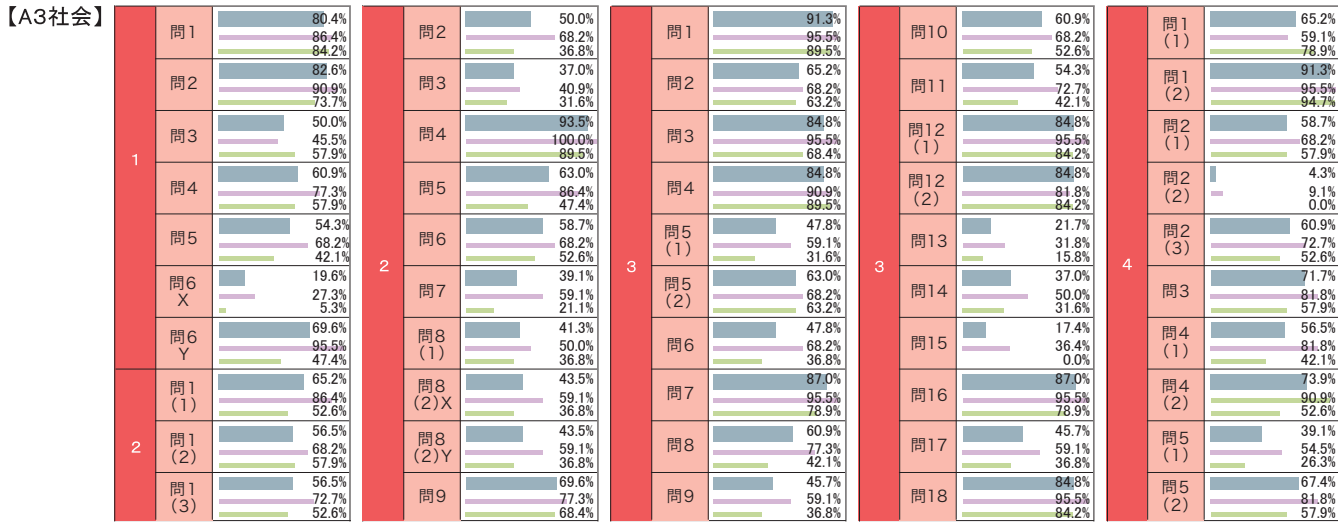
6 設問ごとの正答率と講評



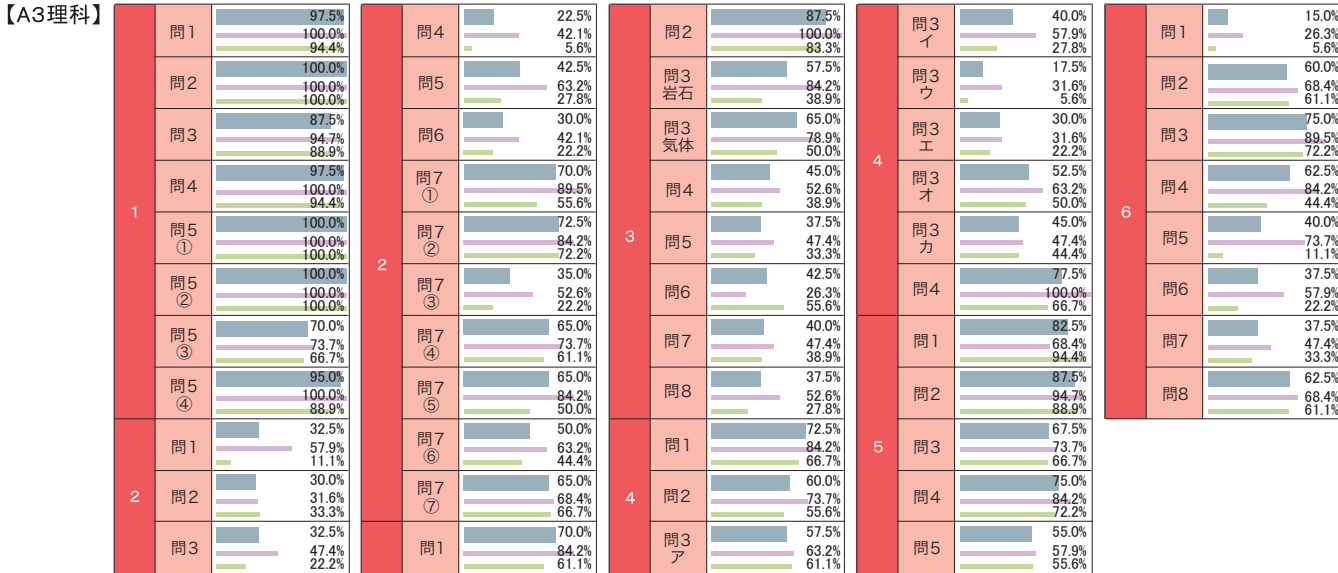
（国語総評）【一】～【六】では漢字・語句の問題でした。今回の入試では、漢字の読み書きの問題の難易度が上がっています。特に同音異義語の読みや書きに関しては、しっかりと学習しておきましょう。また、音読みと訓読みの両方を知っておかなければ、熟語の読みを問う【二】や当てはまる漢字を答える【六】の苦戦はまめがれなかったでしょう。【七】の読解問題ではお金や物に関する説明的文章を出題しました。本文中にもある通り、「大量生産」「大量消費」は近年話題でありますから、ぜひ読み取ってほしいと願っていました。ややこしい事実関係を問う正誤問題以外は比較的良好に出ていたようです。さらに上位を目指すなら、この正誤問題を注意深く読み取る学習をしていきましょう。



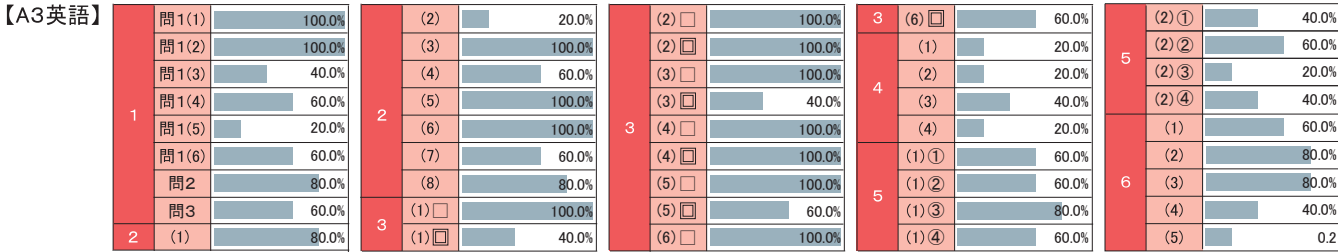
（算数総評）考書にある〇〇算の例題レベルの問題の考え方を理解しながら問題を解くようにしましょう。特に、今回の大問1の(6)時間に関数単位変換、(12)3つのつるかめ算のような〇〇算の中でも少し難しい問題も入試本番までには解けるようにしましょう。大問2は、立体の底面積を考えると、「正方形の面積+円の面積の3/4を足す」という計算が早いと思います。式が簡潔になる、効率のよい計算を心がけましょう。大問3の規則性の問題においては、例えば、左から2番め、5番め、8番め、11番め…の数が、 $2 \times 2, 4 \times 4, 6 \times 6, 8 \times 8, \dots$ となっていることから、左から「 $3 \times \square + 1$ 」番めの数が「 $(2 \times \square) \times (2 \times \square)$ 」となっていることに注目すると左から「 $3 \times \square - 2$ 」番め（＝3で割って1あまる数）の数は「1」、左から「 $3 \times \square$ 」番めの数は「 $(2 \times \square + 1) \times (2 \times \square + 1)$ 」となっていることがわかります。どこに注目すれば規則がとらえやすいのか、問題演習で経験を積みましょう。大問4の旅人算について、池のまわりをまわる2人が向かいあったり進むのか、同じ方向に進むのかで2人の速さの和が必要なのか、差が必要なのかがわかります。問題内容をまずはしっかりとらえましょう。(4)は、Bさんが休けいをしてる間にAさんが移動した距離から、Bさんの休けい時間を求める問題です。問題演習を通じて経験を重ねていないとどのように解いていいのか思いつくことが難しいと思います。



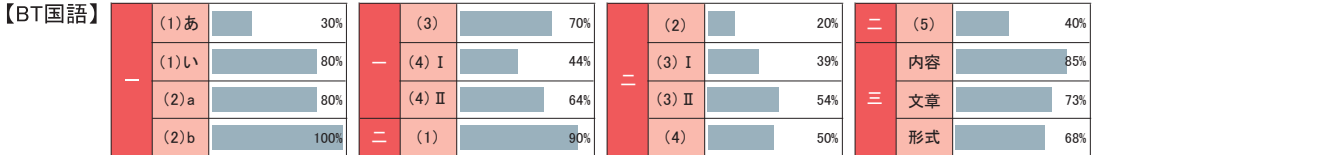
（社会総評）1, 2は地理分野、3は歴史分野、4は公民分野という大問構成でした。各分野の出題割合は、地理分野、歴史分野が4割ずつ、公民分野が2割でした。全体の正答率は59.6%で、分野ごとの正答率は、地理分野が約57%、歴史分野が約63%、公民分野が約69%であり、分野ごとの差はあまり見られませんでした。地理分野：基本的な用語（「抑制栽培」、「加工貿易」など）を答える問題の正答率があまり高くなく、基本語句を確実に押さえているかどうかで、差がつく結果となりました。また、1の世界地理の分野は、例年に比べ正答率が高く、よく学習してきたという印象を受けました。歴史分野：例年通り、人物名や主な出来事に関する正答率が高かったです。出来事の前と後、出来事の内容を細かく問う問題、地図上の場所と出来事の組み合わせ問題で大きな差がつかないことがわかりました。公民分野：基本的な用語を語句で問う問題、1問のみの出題で、例年と傾向に変化はありません。出来事の前と後、出来事の内容を細かく問う問題、地図上の場所と出来事の組み合わせ問題で大きな差がつかないことがわかりました。また、SDGsの問題の正答率から、目頃から時事への興味・関心を持っていることがわかりました。また、問3の正答率が70%を超えていることから、資料から正確に読みとる力をつけている受験生が多いことがわかりました。また、全体を通して感ずるのは、基本事項をどこまで確実に押さえているかどうかで顕著な差とあらわれた、ということです。毎年、傾向は大きく変わってはおりず、過去問演習などで対策することは非常に有効です。繰り返し演習をこなす中で、基本事項を確実に定着させることが大事であるといえます。



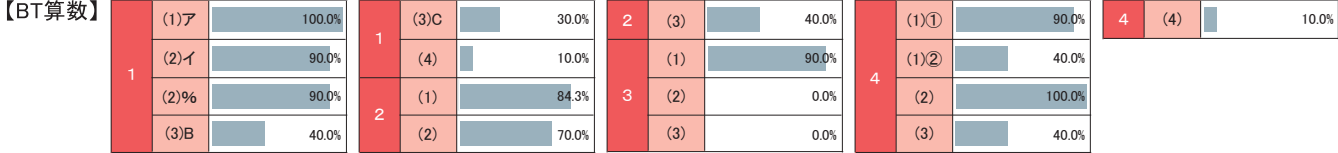
（理科総評）昨年度とほぼ同じ問題傾向で出題しました。物理・化学・生物・地学分野でそれぞれほぼ均等にしています。計算問題では、式をたてることができても計算ミスをしているのを見かけました。最近の傾向に従い、物理や化学分野において、文章を読み、思考力を問う問題を出しましたが、得点率が少し低かったように思います。基本的な計算がミスなくできるようにすることと、長文を読んで理解した上で問題を解く力をつけることが、より高得点を取るポイントだと思います。コアー基本問題を確実に答えられるようにしておきましょう。マスターー文章を読んで、自分で式をたて、計算ミスなく解けるようにしましょう。



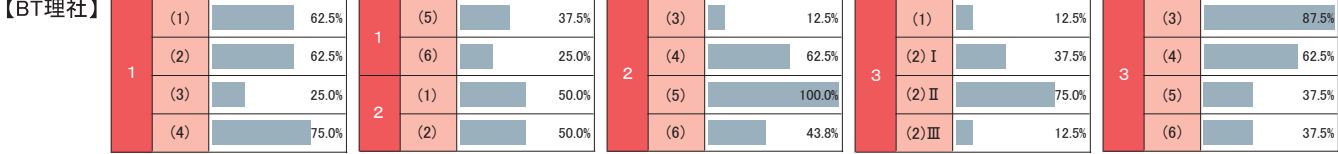
（英語総評）出題形式は昨年度から若干の変更がありましたが、受験生にとっては比較的取り組みやすい問題だったようです。文法的知識や語句整序問題の割合が減り、読解や対話文問題の割合が増えました。第1問：会話文を読み、登場人物のセリフや内容について答える問題でした。登場人物の感情を読み取りながら読み進めることが求められます。第2問：標準的な対話文を完成させる問題です。概ねよくできていました。第3問：イラストを見て、動詞や形容詞を答える問題です。形容詞の正答率がやや低かったです。第4問：文法的知識を問う空所補充問題です。全体的に正答率は低かったです。第5問：新傾向の問題です。4コママンガの登場人物のセリフを答える問題です。(2)がやや難しいようでした。第6問：語句整序問題です。例年に比べ、正答率は高かったです。



評論文二題とテーマ作文一題の構成だ。二題の評論文はどちらも中学校入試のレベルを超えて、高校入試でも少し難解なテーマで語られている。一題目は情緒的な思考と論理的な思考の違いについて。二題目は目で見た世界と頭の中の世界の違いについて述べられている。普段から、説明的文章に触れていないと読むことがままならないだろう。また、テーマ作文は「自分の言葉の影響について」である。条件に自身の例を挙げることが含まれている。こういった条件面を失さないように気を付けて欲しい。



この入試では、問題を解くために必要な情報を長い文章の中から読み取り、早く正確に解く力が求められる問題が多く出題されます。大問1はダム1日の貯水率の変化をみる問題でした。条件を整理して水門A、B、Cがそれぞれ1つずつ開いているときの貯水率の違いを求めればよいでしょう。また、(4)の問題は、1日の中で貯水率が最小となるのが18時であることに注目してください。大問2は図形の面積の問題です。(1)は△と△の三角形の高さの合計が「5 cm」になることがわかれば解けるでしょう。この考え方を活用して、(3)を解くことができます。大問3は通過算の問題です。(2)は電車が10秒で移動する距離は250 mで、その間にすれ違い初めのポイントとすれ違い終わりのポイントが70 m東にずれていたの、電車の長さは、電車の最後尾の移動に注目して「250－70＝180 (m)」となります。会話文の中から必要な情報を図に表して考えましょう。大問4は立体の問題です。様々な形をしたブロックを何個も使用して、決められた立方体を想像できるかがポイントでした。いろいろな組み合わせることで見えてくると思います。



例年同様大問が3題設定されており、第2問が理科、第3問が社会・理科の複合問題でした。(理科)物理・化学・生物・地学がそれぞれに出題され、特に物理は様々な実験結果を整理し、考察する問題が難しくなりました。特に記述問題での説明文や実験結果が乗っている表を読み解いて、説明する問題は受験生には難問であったと思いますが、丁寧な解答が多くみられました。問題文に問われていることを理解し、的確に文章にできれば、より得点が取れたと思います。(社会)地理分野では、基本語句を答える問題は、1問のみでした。例年と同様、各都道府県のデータ（今回であれば、製造品出荷額の内訳や農産物出荷の内訳）を頭に入れておくべき問題を出題しました。人口、面積、農業、工業など各都道府県の膨大なデータを暗記することは困難ですが、それぞれの特徴を正確に押さえておく必要があります。また、複数の資料から、情報を正確に読み取る問題も出題しました。資料からは、桁数の多い数字や、割合の計算などありますが、選択肢をよく読み、着目している問題に取り組み、着目している問題に絞り込んでいくことが大切です。地理分野では、基本語句を答える問題は、1問のみでした。例年と同様、各都道府県のデータ（今回であれば、製造品出荷額の内訳や農産物出荷の内訳）を頭に入れておくべき問題を出題しました。人口、面積、農業、工業など各都道府県の膨大なデータを暗記することは困難ですが、それぞれの特徴を正確に押さえておく必要があります。また、複数の資料から、情報を正確に読み取る問題も出題しました。資料からは、桁数の多い数字や、割合の計算などありますが、選択肢をよく読み、着目している問題に取り組み、着目している問題に絞り込んでいくことが大切です。地理分野では、基本語句を答える問題は、1問のみでした。例年と同様、各都道府県のデータ（今回であれば、製造品出荷額の内訳や農産物出荷の内訳）を頭に入れておくべき問題を出題しました。人口、面積、農業、工業など各都道府県の膨大なデータを暗記することは困難ですが、それぞれの特徴を正確に押さえておく必要があります。また、複数の資料から、情報を正確に読み取る問題も出題しました。資料からは、桁数の多い数字や、割合の計算などありますが、選択肢をよく読み、着目している問題に取り組み、着目している問題に絞り込んでいくことが大切です。地理分野では、基本語句を答える問題は、1問のみでした。例年と同様、各都道府県のデータ（今回であれば、製造品出荷額の内訳や農産物出荷の内訳）を頭に入れておくべき問題を出題しました。人口、面積、農業、工業など各都道府県の膨大なデータを暗記することは困難ですが、それぞれの特徴を正確に押さえておく必要があります。また、複数の資料から、情報を正確に読み取る問題も出題しました。資料からは、桁数の多い数字や、割合の計算などありますが、選択肢をよく読み、着目している問題に取り組み、着目している問題に絞り込んでいくことが大切です。地理分野では、基本語句を答える問題は、1問のみでした。例年と同様、各都道府県のデータ（今回であれば、製造品出荷額の内訳や農産物出荷の内訳）を頭に入れておくべき問題を出題しました。人口、面積、農業、工業など各都道府県の膨大なデータを暗記することは困難ですが、それぞれの特徴を正確に押さえておく必要があります。また、複数の資料から、情報を正確に読み取る問題も出題しました。資料からは、桁数の多い数字や、割合の計算などありますが、選択肢をよく読み、着目している問題に取り組み、着目している問題に絞り込んでいくことが大切です。地理分野では、基本語句を答える問題は、1問のみでした。例年と同様、各都道府県のデータ（今回であれば、製造品出荷額の内訳や農産物出荷の内訳）を頭に入れておくべき問題を出題しました。人口、面積、農業、工業など各都道府県の膨大なデータを暗記することは困難ですが、それぞれの特徴を正確に押さえておく必要があります。また、複数の資料から、情報を正確に読み取る問題も出題しました。資料からは、桁数の多い数字や、割合の計算などありますが、選択肢をよく読み、着目している問題に取り組み、着目している問題に絞り込んでいくことが大切です。地理分野では、基本語句を答える問題は、1問のみでした。例年と同様、各都道府県のデータ（今回であれば、製造品出荷額の内訳や農産物出荷の内訳）を頭に入れておくべき問題を出題しました。人口、面積、農業、工業など各都道府県の膨大なデータを暗記することは困難ですが、それぞれの特徴を正確に押さえておく必要があります。また、複数の資料から、情報を正確に読み取る問題も出題しました。資料からは、桁数の多い数字や、割合の計算などありますが、選択肢をよく読み、着目している問題に取り組み、着目している問題に絞り込んでいくことが大切です。地理分野では、基本語句を答える問題は、1問のみでした。例年と同様、各都道府県のデータ（今回であれば、製造品出荷額の内訳や農産物出荷の内訳）を頭に入れておくべき問題を出題しました。人口、面積、農業、工業など各都道府県の膨大なデータを暗記することは困難ですが、それぞれの特徴を正確に押さえておく必要があります。また、複数の資料から、情報を正確に読み取る問題も出題しました。資料からは、桁数の多い数字や、割合の計算などありますが、選択肢をよく読み、着目している問題に取り組み、着目している問題に絞り込んでいくことが大切です。地理分野では、基本語句を答える問題は、1問のみでした。例年と同様、各都道府県のデータ（今回であれば、製造品出荷額の内訳や農産物出荷の内訳）を頭に入れておくべき問題を出題しました。人口、面積、農業、工業など各都道府県の膨大なデータを暗記することは困難ですが、それぞれの特徴を正確に押さえておく必要があります。また、複数の資料から、情報を正確に読み取る問題も出題しました。資料からは、桁数の多い数字や、割合の計算などありますが、選択肢をよく読み、着目している問題に取り組み、着目している問題に絞り込んでいくことが大切です。地理分野では、基本語句を答える問題は、1問のみでした。例年と同様、各都道府県のデータ（今回であれば、製造品出荷額の内訳や農産物出荷の内訳）を頭に入れておくべき問題を出題しました。人口、面積、農業、工業など各都道府県の膨大なデータを暗記することは困難ですが、それぞれの特徴を正確に押さえておく必要があります。また、複数の資料から、情報を正確に読み取る問題も出題しました。資料からは、桁数の多い数字や、割合の計算などありますが、選択肢をよく読み、着目している問題に取り組み、着目している問題に絞り込んでいくことが大切です。地理分野では、基本語句を答える問題は、1問のみでした。例年と同様、各都道府県のデータ（今回であれば、製造品出荷額の内訳や農産物出荷の内訳）を頭に入れておくべき問題を出題しました。人口、面積、農業、工業など各都道府県の膨大なデータを暗記することは困難ですが、それぞれの特徴を正確に押さえておく必要があります。また、複数の資料から、情報を正確に読み取る問題も出題しました。資料からは、桁数の多い数字や、割合の計算などありますが、選択肢をよく読み、着目している問題に取り組み、着目している問題に絞り込んでいくことが大切です。地理分野では、基本語句を答える問題は、1問のみでした。例年と同様、各都道府県のデータ（今回であれば、製造品出荷額の内訳や農産物出荷の内訳）を頭に入れておくべき問題を出題しました。人口、面積、農業、工業など各都道府県の膨大なデータを暗記することは困難ですが、それぞれの特徴を正確に押さえておく必要があります。また、複数の資料から、情報を正確に読み取る問題も出題しました。資料からは、桁数の多い数字や、割合の計算などありますが、選択肢をよく読み、着目している問題に取り組み、着目している問題に絞り込んでいくことが大切です。地理分野では、基本語句を答える問題は、1問のみでした。例年と同様、各都道府県のデータ（今回であれば、製造品出荷額の内訳や農産物出荷の内訳）を頭に入れておくべき問題を出題しました。人口、面積、農業、工業など各都道府県の膨大なデータを暗記することは困難ですが、それぞれの特徴を正確に押さえておく必要があります。また、複数の資料から、情報を正確に読み取る問題も出題しました。資料からは、桁数の多い数字や、割合の計算などありますが、選択肢をよく読み、着目している問題に取り組み、着目している問題に絞り込んでいくことが大切です。地理分野では、基本語句を答える問題は、1問のみでした。例年と同様、各都道府県のデータ（今回であれば、製造品出荷額の内訳や農産物出荷の内訳）を頭に入れておくべき問題を出題しました。人口、面積、農業、工業など各都道府県の膨大なデータを暗記することは困難ですが、それぞれの特徴を正確に押さえておく必要があります。また、複数の資料から、情報を正確に読み取る問題も出題しました。資料からは、桁数の多い数字や、割合の計算などありますが、選択肢をよく読み、着目している問題に取り組み、着目している問題に絞り込んでいくことが大切です。地理分野では、基本語句を答える問題は、1問のみでした。例年と同様、各都道府県のデータ（今回であれば、製造品出荷額の内訳や農産物出荷の内訳）を頭に入れておくべき問題を出題しました。人口、面積、農業、工業など各都道府県の膨大なデータを暗記することは困難ですが、それぞれの特徴を正確に押さえておく必要があります。また、複数の資料から、情報を正確に読み取る問題も出題しました。資料からは、桁数の多い数字や、割合の計算などありますが、選択肢をよく読み、着目している問題に取り組み、着目している問題に絞り込んでいくことが大切です。地理分野では、基本語句を答える問題は、1問のみでした。例年と同様、各都道府県のデータ（今回であれば、製造品出荷額の内訳や農産物出荷の内訳）を頭に入れておくべき問題を出題しました。人口、面積、農業、工業など各都道府県の膨大なデータを暗記することは困難ですが、それぞれの特徴を正確に押さえておく必要があります。また、複数の資料から、情報を正確に読み取る問題も出題しました。資料からは、桁数の多い数字や、割合の計算などありますが、選択肢をよく読み、着目している問題に取り組み、着目している問題に絞り込んでいくことが大切です。地理分野では、基本語句を答える問題は、1問のみでした。例年と同様、各都道府県のデータ（今回であれば、製造品出荷額の内訳や農産物出荷の内訳）を頭に入れておくべき問題を出題しました。人口、面積、農業、工業など各都道府県の膨大なデータを暗記することは困難ですが、それぞれの特徴を正確に押さえておく必要があります。また

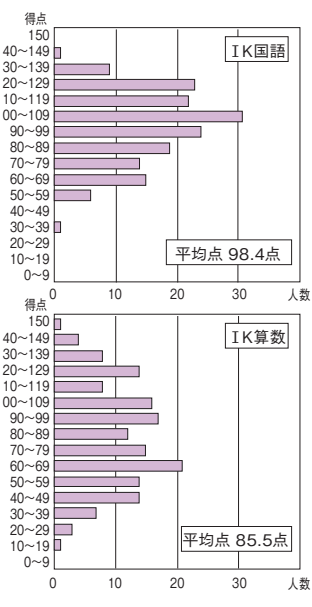
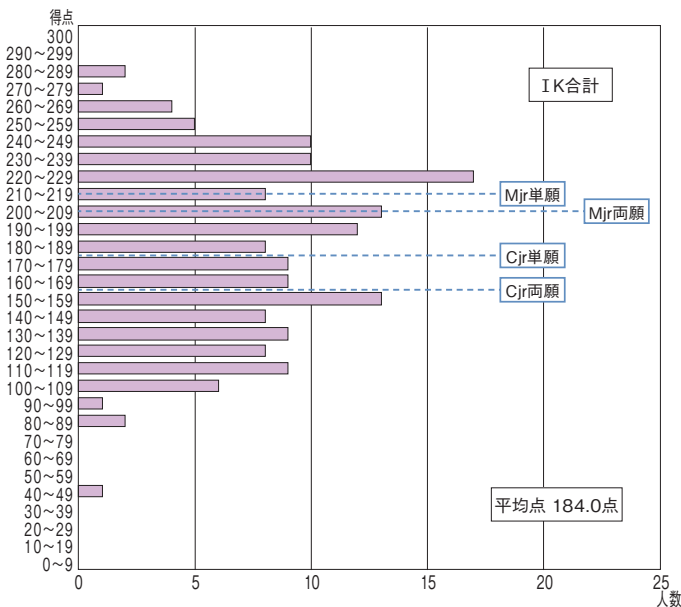
7 谷験テストの得点分布とB判定（合格圏内）のボーダー／教科ごとの得点分布と平均点

2023.10.21実施 谷験Ⅰ	
Kタイプ 国・算	
50分 150点×2科	
受験者165名	

谷験の得点率と評価

IK	M単願	M両・複	C単願	C両・複
A ☆	250 ～	235 ～		
A ◇	235 ～	225 ～		
A	225 ～	215 ～	205 ～	180 ～
B	215 ～	205 ～	180 ～	160 ～
C	205 ～	180 ～	160 ～	130 ～
D	180 ～	160 ～	130 ～	100 ～
E	160 ～	130 ～	100 ～	80 ～
F	～ 159	～ 129	～ 99	～ 79

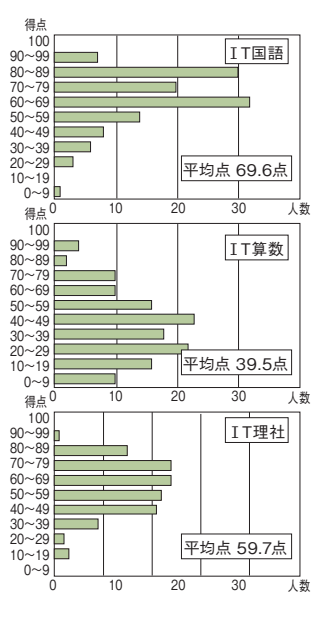
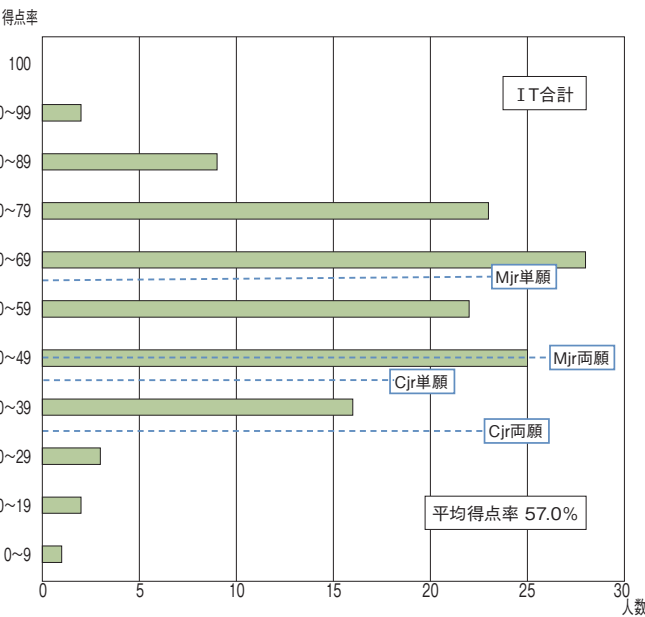
※下の各グラフ内の-----線は各試験区分における谷験テストのB判定の基準点です。



2023.10.21実施 谷験Ⅰ	
Tタイプ 適性検査型 国語・算数・理社	
50分 100点×3科	
受験者131名	

谷験の得点率と評価

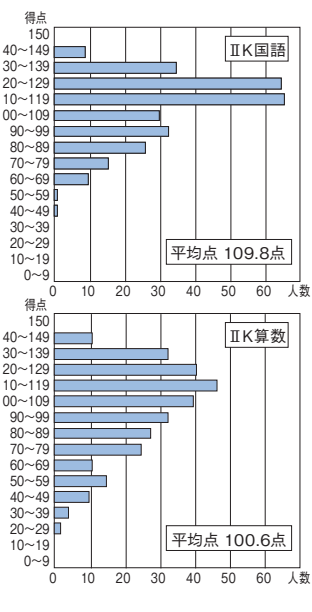
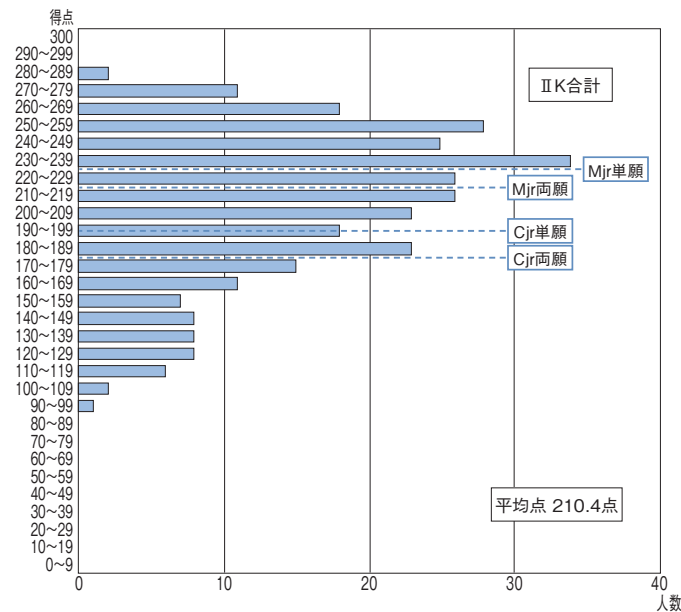
IT	M単願	M両・複	C単願	C両・複
A ☆	60 ～	56 ～		
A ◇	56 ～	53 ～		
A	53 ～	50 ～	45 ～	35 ～
B	50 ～	45 ～	40 ～	30 ～
C	45 ～	40 ～	35 ～	25 ～
D	40 ～	35 ～	30 ～	20 ～
E	35 ～	30 ～	25 ～	15 ～
F	35 未満	30 未満	25 未満	15 未満



2023.12.02実施 谷験Ⅱ	
Kタイプ 国・算	
50分 150点×2科	
受験者300名	

谷験の得点率と評価

IIK	M単願	M両・複	C単願	C両・複
A ☆	260 ～	245 ～		
A ◇	245 ～	235 ～		
A	235 ～	230 ～	220 ～	195 ～
B	230 ～	220 ～	195 ～	180 ～
C	220 ～	195 ～	180 ～	150 ～
D	195 ～	180 ～	150 ～	120 ～
E	180 ～	150 ～	120 ～	100 ～
F	～ 179	～ 149	～ 119	～ 99



8 谷験受験者数

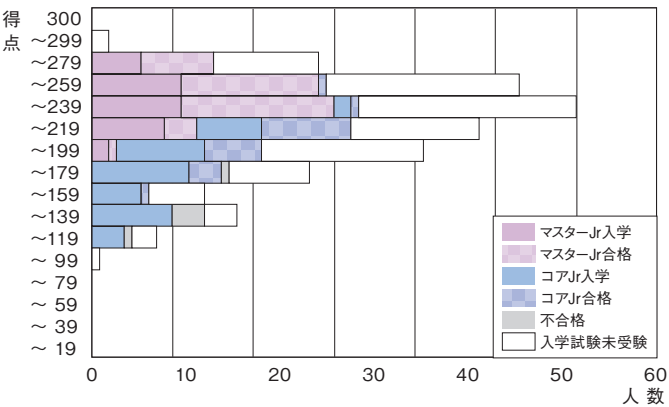
		2023	2022	2021	2020	2019	2018	2017	2016
谷験Ⅰ	Kタイプ	165	205	121	171	176	167	163	157
	Tタイプ	131	152	128	119	112	101	53	64
	計	296	327	249	290	288	268	216	221
谷験Ⅱ		300	301	300	245	261	243	210	268
合計		596	628	549	535	549	511	426	489

※欠席者は除いています。

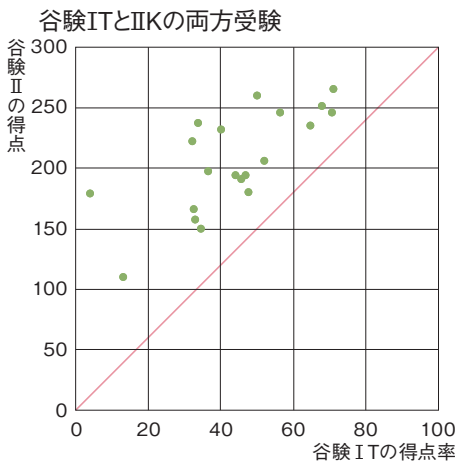
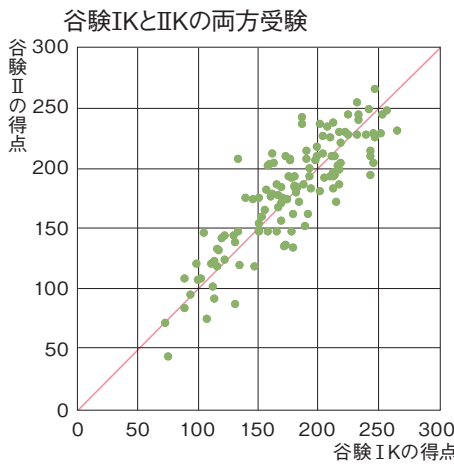
9 谷験テストの判定と入学試験の判定状況

入学試験の判定		谷験判定ごとの入試合格率			
		A	B	C	D
マスター Jr	単願	88%	100%	75%	15%
	専願・両願	89%	92%	55%	0%
コア Jr	単願	92%	96%	100%	80%
	専願・両願	92%	90%	81%	46%

10 谷験ⅡK受験者の入学試験受験状況



11 谷験ⅠとⅡの両方を受験した児童の状況



※谷験ⅠとⅡの両方受験した児童についてまとめています。
※直線は谷験ⅠおよびⅡの同じ得点を結んだものです。

12 大谷中学出身生（71名）の高校卒業時の進路

理系	北海道大学 / 工学部	文系	関西大学 / 法学部	理系	近畿大学 / 情報学部	文系	京都光華女子大学 / 看護福祉リハビリテーション学部
文系	三重大学 / 人文学部	理系	関西学院大学 / 工学部	理系	近畿大学 / 理工学部	文系	摂南大学 / 国際学部
理系	京都工芸繊維大学 / 工芸科学部	文系	関西学院大学 / 文学部	文系	佛教大学 / 社会福祉学部	文系	梅花女子大学 / 文化表現学部
理系	京都工芸繊維大学 / 工芸科学部	文系	同志社女子大学 / 表象文化学部	文系	佛教大学 / 仏教学部	文系	追手門学院大学 / 経営学部
文系	京都府立医科大学 / 医学部	文系	京都産業大学 / 外国語学部	文系	大谷大学 / 社会学部	文系	追手門学院大学 / 経営学部
理系	京都府立大学 / 農学食料学部	文系	京都産業大学 / 経営学部	文系	大谷大学 / 文学部	文系	大阪産業大学 / 経営学部
文系	滋賀大学 / 教育学部	文系	京都産業大学 / 国際関係学部	文系	大谷大学 / 文学部	文系	藍野大学 / 保健医療学部
文系	神戸大学 / 文学部	文系	京都産業大学 / 国際関係学部	文系	大谷大学 / 文学部	文系	奈良学園大学 / 保健医療学部
文系	奈良女子大学 / 文学部	文系	龍谷大学 / 経営学部	文系	大谷大学 / 文学部	理系	工学院大学 / 建築学部
文系	九州大学 / 法学部	文系	龍谷大学 / 経済学部	理系	京都薬科大学 / 薬学部	文系	京都コンピュータ学院 /
文系	防衛大学校 / 人文・社会科学専攻	文系	龍谷大学 / 国際学部	文系	京都橋大学 / 発達教育学部	文系	京都コンピュータ学院 /
文系	同志社大学 / 心理学部	文系	龍谷大学 / 政策学部	文系	京都橋大学 / 発達教育学部	文系	大阪ダンス・俳優舞台芸術専門学校 /
文系	同志社大学 / 政策学部	理系	龍谷大学 / 農学部	文系	京都先端科学大学 / 経済経営学部	文系	LAPONE エンタテインメント /
文系	同志社大学 / 法学部	文系	龍谷大学 / 文学部	文系	京都先端科学大学 / 健康医療学部	文系	進学準備 / 5名
文系	立命館大学 / 経済学部	文系	龍谷大学 / 文学部	文系	京都先端科学大学 / 人文学部	理系	進学準備 / 2名
文系	立命館大学 / 食マネジメント学部	文系	近畿大学 / 経営学部	理系	京都芸術大学 / 芸術学部	計 71名	
文系	立命館アジア太平洋大学 / サステイナビリティ観光学部	文系	近畿大学 / 経済学部	理系	京都精華大学 / デザイン学部		

前年度進学準備生徒の合格状況（抜粋）

理系	京都大学 / 工学部	理系	京都府立医科大学 / 医学部 / 医学科	理系	徳島大学 / 歯学部 / 歯学科
----	------------	----	----------------------	----	------------------